



農林水産省の ミッション

農林水産省
九州農政局

今日お話すること

1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

農林水産省は何のために存在しているか

- 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

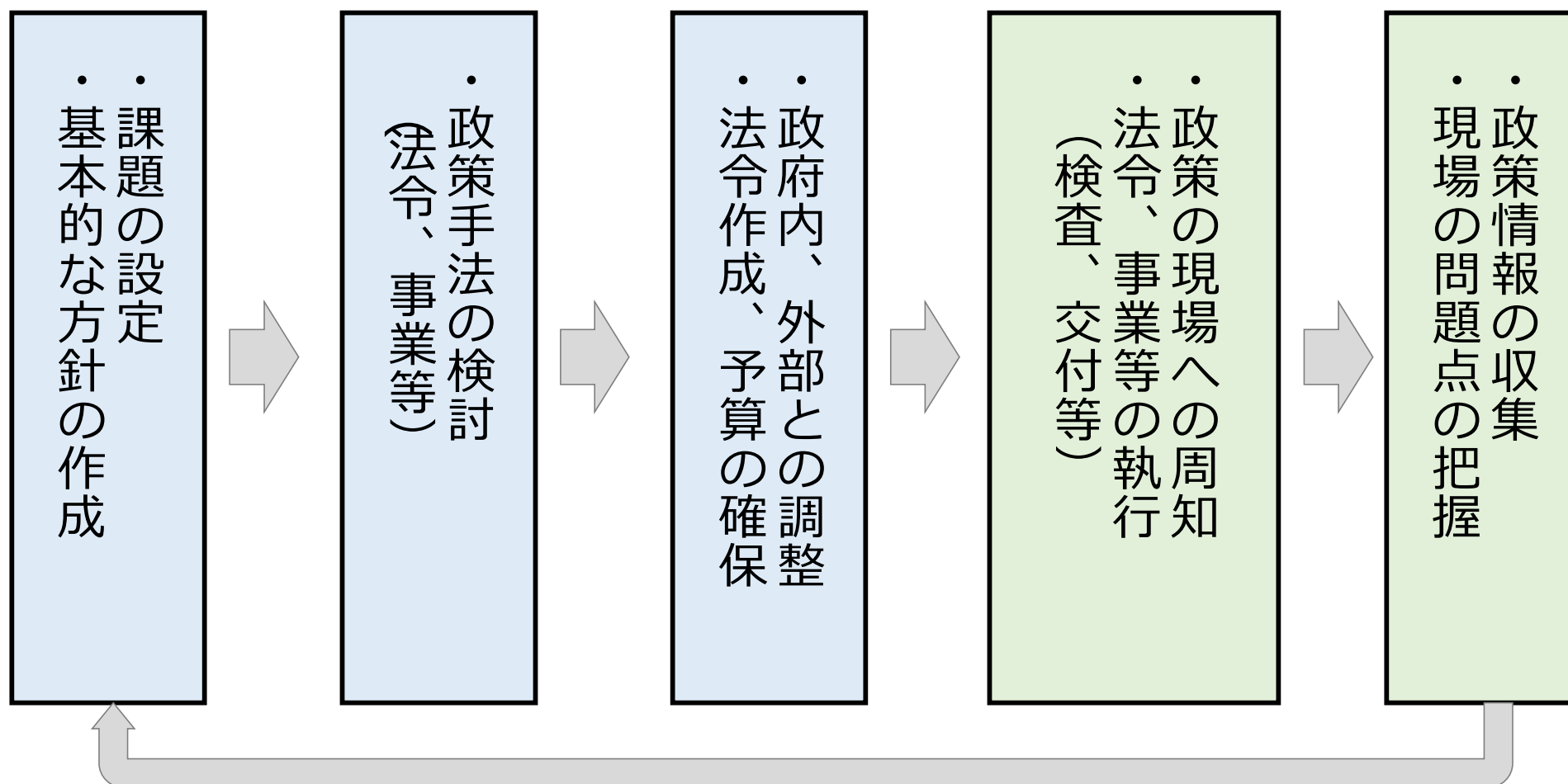
ビジョン

ミッション

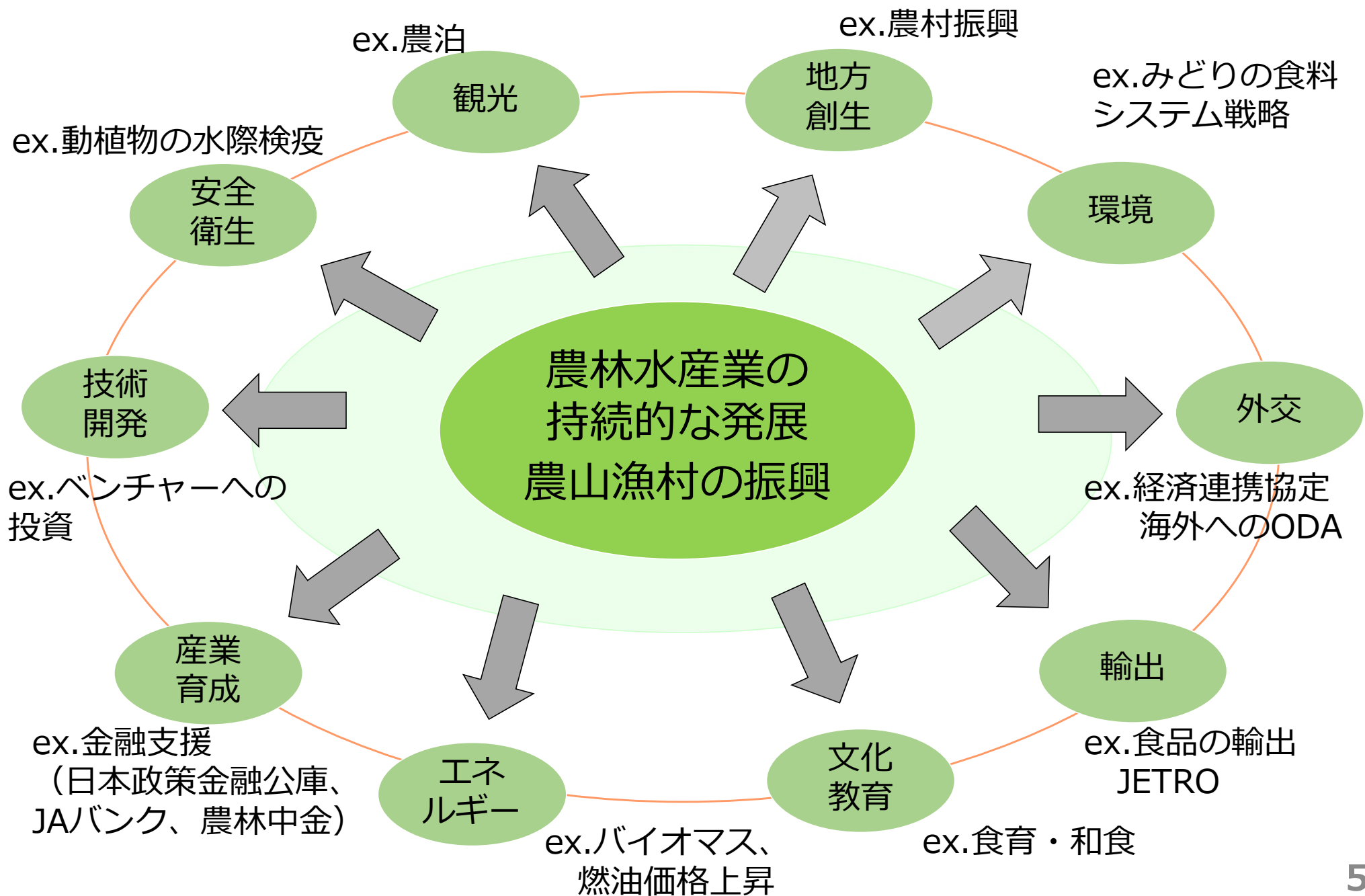
農林水産行政の流れ

政策の企画・立案（主に本省）

政策の実行（主に地方農政局、北海道農政事務所）



1次産業を核とした多様なフィールドと、 豊富なツール



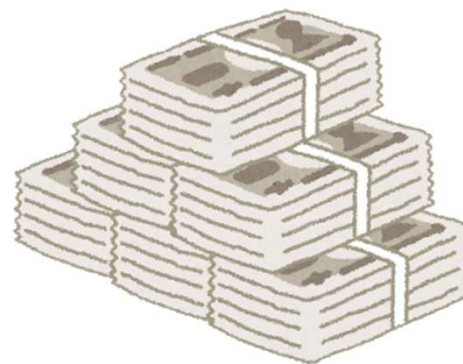
これから必要なこと：農林水産業の持続的な発展

「食」と「環境」を未来に繋ぐため

- ・ **食料安定供給の機能の向上**
 - ・ **農山漁村（ひいては日本全体）の活力維持・向上**
- を実現できるよう、**農林水産業の持続的な発展**が不可欠。

単純に言うと…

$$P（価格） \times Q（量） - C（コスト） = R（収入）$$

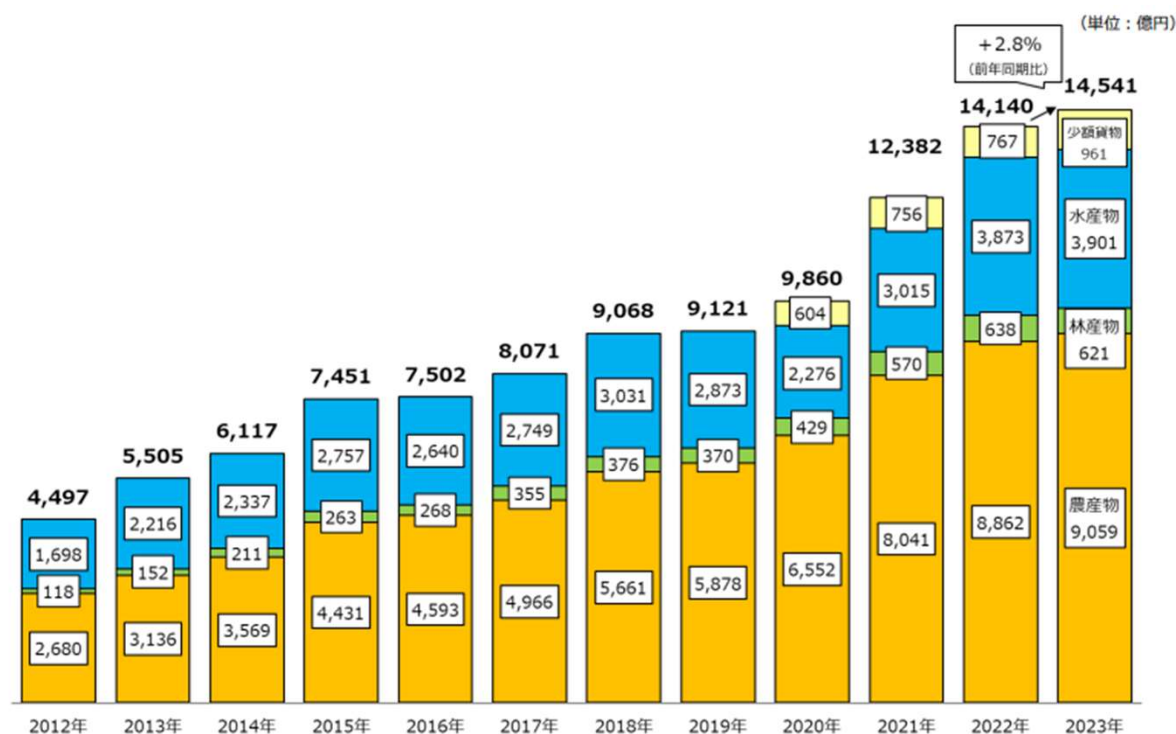


農林水産業の持続的な発展：輸出促進

近年急速に増加。2021年 1 兆円目標を突破！

2030年輸出額 5 兆円の目標達成を目指す。

○農林水産物・食品の輸出額



注：2020年の（9,217）は少額貨物及び木製家具を含まない数値
2021年の（11,629）は少額貨物を含まない数値

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

○諸外国の農産物・食品の輸出割合

(億ドル)

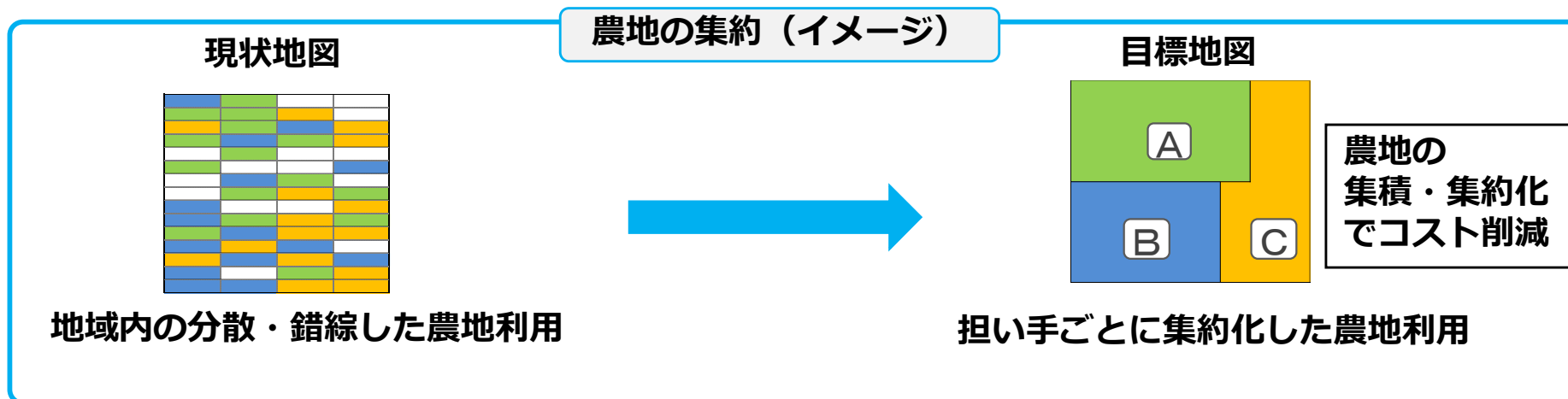
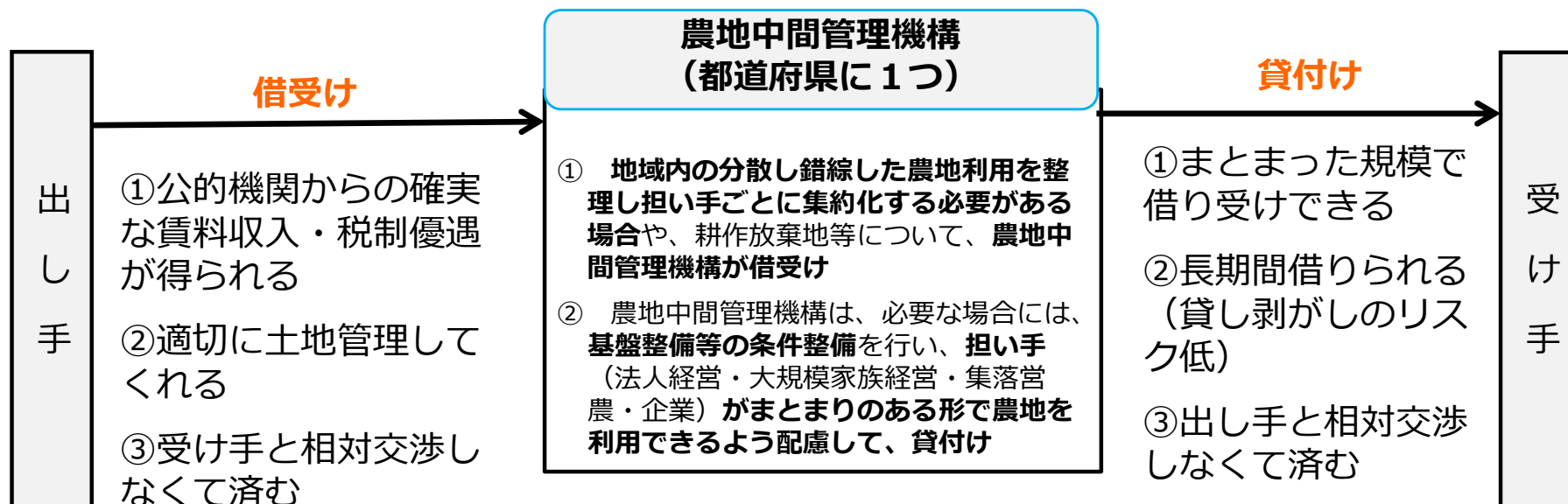
国名	生産額 (農産物・ 食品製造業)	輸出額 (農産物・ 加工食品)	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	2%

注：日本以外の諸外国の林業・漁業生産額については、比較可能な統計がないことから、生産額、輸出額とも含めていない。日本のみ農林水産物として算出。

資料：FAOSTAT, 三井物産戦略研究所, Global Trade Atlas, 生産農業所得統計, 工業統計, 林業産出額, 漁業産出額, 農業・食料関連産業の経済計算

農林水産業の持続的な発展：農地集積による大規模化・コストダウン

- 離農者などは「**農地中間管理機構**」（**農地バンク**）に農地を預け、地域の話合いに基づき市町村が作成する「**目標地図**」に沿って、農地バンクが企業を含む「**担い手**」に一括で貸出し。

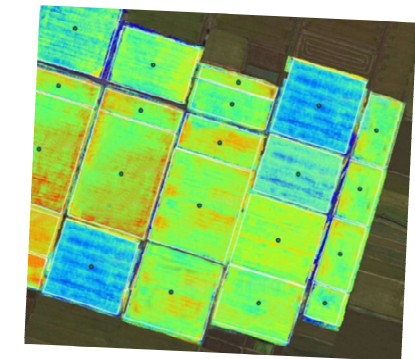


農林水産業の持続的な発展：テクノロジー活用

AIやロボット等を活用し、生産性の向上を図る

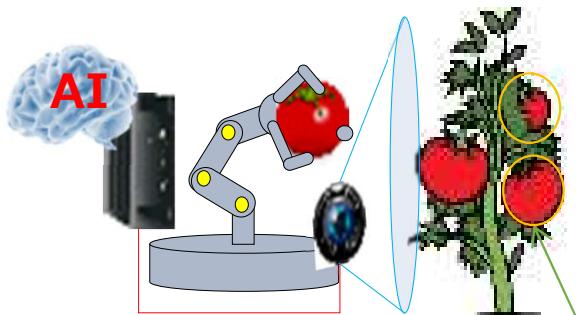


水稻の葉色マップ例



薄 ← 葉色 → 濃
(不良 生育状況 良)

リモートセンシングによる農場の可視化



情報処理量を減らせるので速い

葉や茎をよけることを学習するので獲れる

AIを活用した野菜収穫ロボットの開発

農林水産業の持続的な発展：みどりの食料システム戦略

みどりの食料システム戦略（概要）

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～
Measures for achievement of Decarbonization and Resilience with Innovation (MeaDRI)

令和3年5月
農林水産省

現状と今後の課題

- 生産者の減少・高齢化、地域コミュニティの衰退
- 温暖化、大規模自然災害
- コロナを契機としたサプライチェーン混乱、内食拡大
- SDGsや環境への対応強化
- 国際ルールメイキングへの参画



「Farm to Fork戦略」(20.5)
2030年までに化学農薬の使用及びリスクを50%減、有機農業を25%に拡大



「農業イノベーションアジェンダ」(20.2)
2050年までに農業生産量40%増加と環境フットプリント半減

**農林水産業や地域の将来も
見据えた持続可能な
食料システムの構築が急務**

持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進

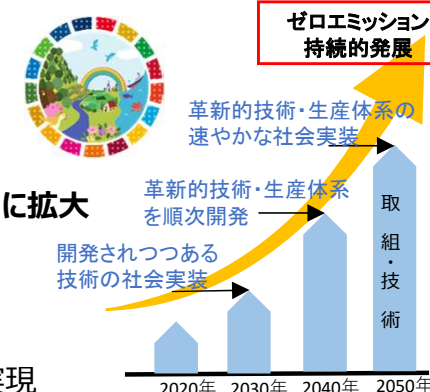
目指す姿と取組方向

2050年までに目指す姿

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- 低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減
- 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大
- 2030年までに食品製造業の労働生産性を最低3割向上
- 2030年までに食品企業における持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す
- エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現

戦略的な取組方向

- 2040年までに革新的な技術・生産体系を順次開発（技術開発目標）
2050年までに革新的な技術・生産体系の開発を踏まえ、今後、「政策手法のグリーン化」を推進し、その社会実装を実現（社会実装目標）
- ※政策手法のグリーン化：2030年までに施策の支援対象を持続可能な食料・農林水産業を行う者に集中。
2040年までに技術開発の状況を踏まえつつ、補助事業についてカーボンニュートラルに対応することを目指す。
補助金拡充、環境負荷軽減メニューの充実とセットでクロスコンプライアンス要件を充実。
- ※革新的技術・生産体系の社会実装や、持続可能な取組を後押しする観点から、その時点において必要な規制を見直し。
地産地消型エネルギーシステムの構築に向けて必要な規制を見直し。



期待される効果

経済

持続的な産業基盤の構築

- ・輸入から国内生産への転換（肥料・飼料・原料調達）
- ・国産品の評価向上による輸出拡大
- ・新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

社会

国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

- ・生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活
- ・地域資源を活かした地域経済循環
- ・多様な人々が共生する地域社会

環境

将来にわたり安心して 暮らせる地球環境の継承

- ・環境と調和した食料・農林水産業
- ・化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献
- ・化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減

アジアモンスーン地域の持続的な食料システムのモデルとして打ち出し、国際ルールメイキングに参画（国連食料システムサミット（2021年9月）など）

農地・農業水利施設の整備：国営土地改良事業

	事業内容	事業を実施する上での課題
①かんがい排水事業	○ 農業水利施設（ダム、堰、用排水路、用排水機場等）の整備・更新 	○ 基幹的水利施設の2割が耐用年数を超過 ○ 点検・補修による長寿命化の推進
②農地防災事業	○ 集中豪雨・地震等の自然災害に対応するための排水機場の整備や老朽化したため池の改修等 	○ 集中豪雨の多発化 ○ 全国約21万箇所のため池のうち約1.4万箇所が警戒すべきため池（決壊による下流への影響が大きいもの）
③農地再編整備事業	○ 農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設の整備 	○ 狭小・不整形の農地は作業効率が悪く、担い手農家も敬遠 ○ 大区画化・汎用化により生産コストの大幅削減と収量の増大

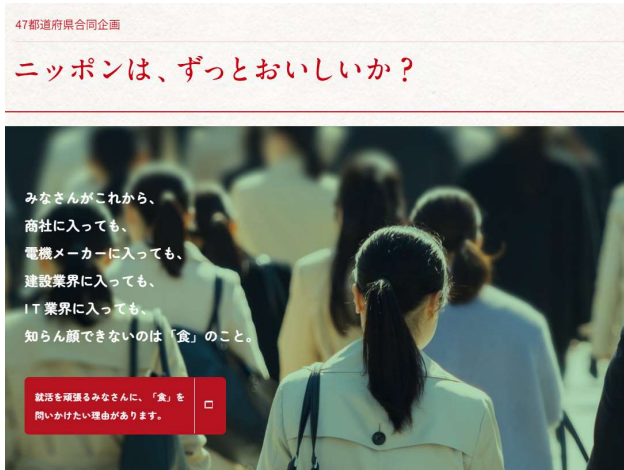
国民理解の醸成



ハロプロのアイドルが、
「さかなの日応援隊」なんです。



さかなくんが、さかなの日
アンバサダーなんです。



#食べるぜ ニッポン!

「日本産水産物を食べよう」キャンペーンを実施。
特にSNSを通じた情報発信。Xにて、かなりの反響。

今日お話すること

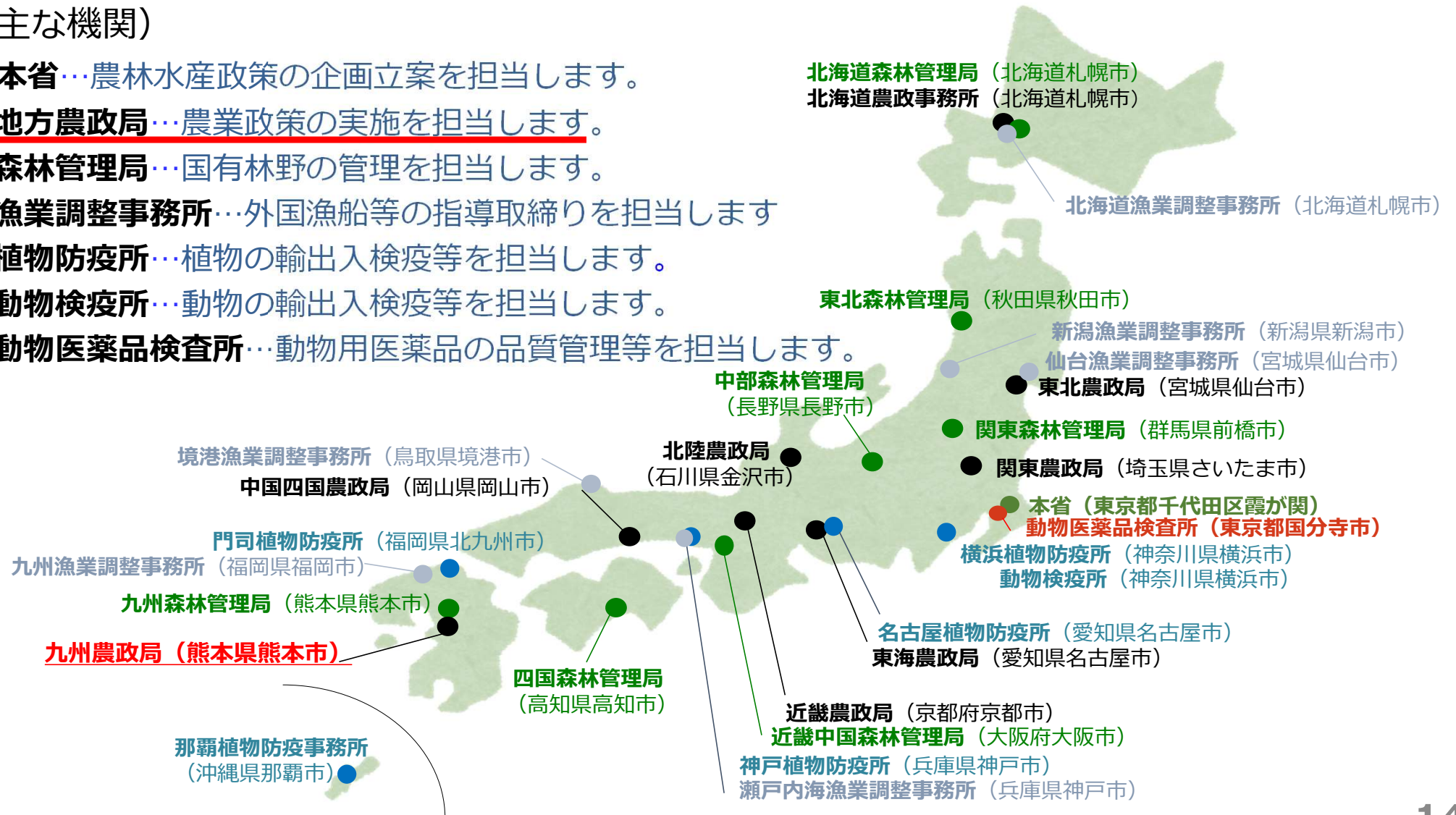
1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

農林水産省の組織①

農林水産省は、本省（約 5 千人）と全国の各地方ブロック機関（約 1 万 4 千人）で構成され、総定員数は約 1.9 万人です。

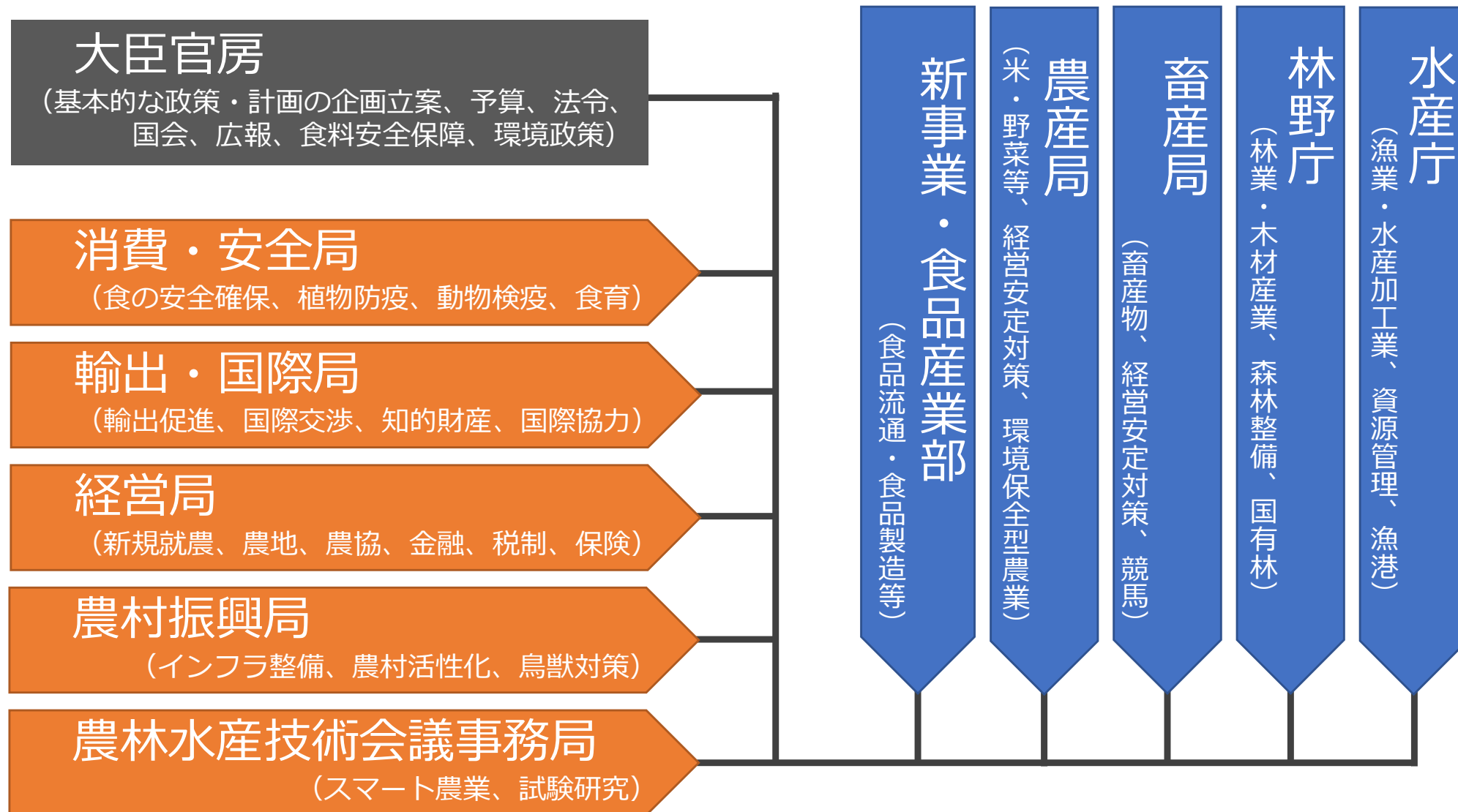
（主な機関）

- **本省**…農林水産政策の企画立案を担当します。
- **地方農政局**…農業政策の実施を担当します。
- **森林管理局**…国有林野の管理を担当します。
- **漁業調整事務所**…外国漁船等の指導取締りを担当します
- **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物医薬品検査所**…動物用医薬品の品質管理等を担当します。



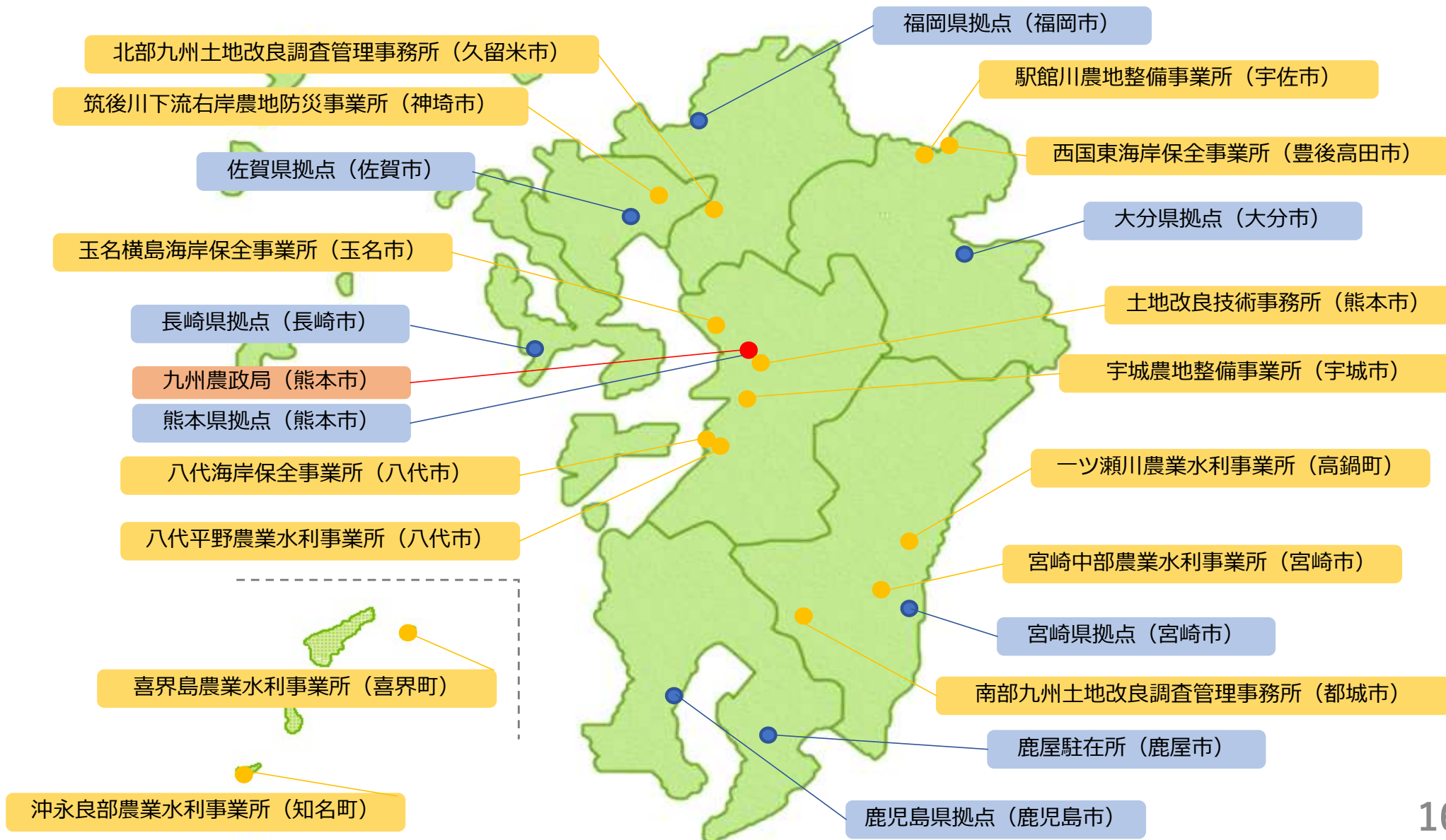
農林水産省（本省）の組織②

それぞれの**品目**（米、肉、魚など）の産業振興を行いながら【縦軸】、
全ての品目に**共通する課題**（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）
については、品目横断的に政策を打ち出しています【横軸】。



九州農政局の組織① (R7. 5現在)

九州農政局は、本局の約590人と各県拠点や事業所の約540人とで構成され、総定員数は約1130人です。
(ほかに再任用職員：約280人 非常勤職員：約170人)

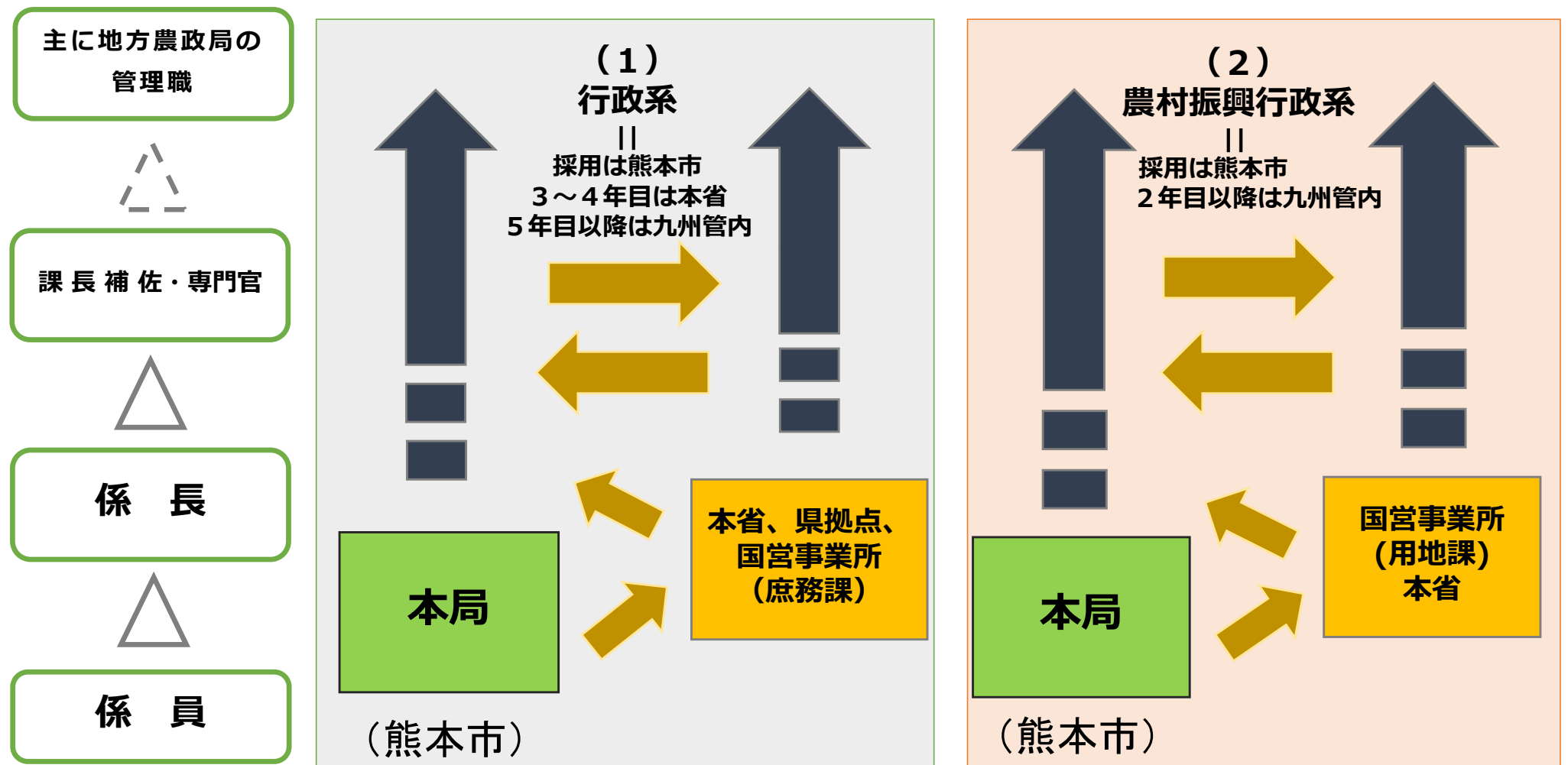


九州農政局の組織②

部（室）等	業務内容	部（室）等	業務内容
企画調整室	各種施策に関する企画・総合調整、広報・報道活動、農畜産物等の災害対策、農畜産物・ <u>飲食料品等の物価対策</u> 、食料自給率の向上、 <u>食料安全保障の強化</u> 、農政全般に関する情報発信・収集及び相談対応	経営・事業支援部	担い手の育成・確保、新規就農の促進や女性・高齢者の活動促進、 <u>農林水産物・食品の輸出促進</u> 、地理的表示（G I）・知的財産の保護・活用、食文化の保護・継承、HACCPの普及推進、農地政策の推進、農地集積・集約化
総務部	職員の採用活動、人事管理、給与、福利厚生、契約事務、物品の購入・管理、国有財産の管理	農村振興部	農山漁村の活性化対策（農泊、農福連携、6次産業化、地産地消、情報通信）、中山間地域等の振興、棚田の振興、鳥獣害対策、土地改良区の指導・監督、農地転用許可、農業農村整備事業の調査・計画・実施
消費・安全部	食品の安全性に関する情報等の収集・提供、食育の推進、食品表示の適正化、トレーサビリティ、家畜伝染病の予防、農作物の病虫害のまん延防止	統計部	農林漁業経営体の経営、農畜産物の生産費、農林漁業センサス、農産物被害統計、耕地面積や農林水産物の生産・流通・加工・消費等の各種統計データの作成・提供
生産部	米・麦・豆類・野菜・果実など主要農作物及び畜産物の生産・流通の改善等に関する指導、米の需給調整、環境保全型農業の推進、 <u>みどりの食料システム戦略の推進</u> 、経営所得安定対策、 <u>スマート農業</u> 、生産資材（肥料、燃料、飼料）高騰関連		

入省後のキャリアパス（一般職試験・行政）

- ▼ 採用後は、概ね **2～3年毎**に1度は異動することとなります。
 - (1) 行政系_様々なポストを経験しながら、**自分にあつた分野のスペシャリスト**になってもらいます。
 - (2) 農村振興行政系_農業インフラの整備に係る**用地・補償業務のスペシャリスト**になってもらいます。
- ▼ キャリアプランの中で、農林水産本省での業務も経験可能です。



業務内容

行政系

●業務内容●

- ・みどりの食料システム戦略の推進
- ・各種施策に関する企画
- ・消費者行政、食育の推進
- ・内部管理（人事、会計等）
- ・担い手確保対策、
- ・農林水産物食品の輸出促進
- ・食料安全保障の強化
- ・バイオマス・再生可能エネルギー利活用促進等の事務
- ・農地政策の推進、新規就農対策、経営所得安定対策の事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局本局
- ・同局管内の各県拠点、国営事業所
- ・本省（東京霞ヶ関）

農村振興行政系

●業務内容●

- ・国営土地改良事業等に係る用地補償及び施設の管理等の事務

○用地補償業務

.....
土地改良施設を作るために必要な土地の買収、移転、借地等の事務

○管理業務

.....
完成された土地改良施設を維持・管理するための事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局管内の国営事業所
- ・九州農政局本局
- ・本省（東京霞ヶ関）

若手がどんどん行動しています

九州農政局チャレンジチーム

意欲のある若手職員が、農業の抱える課題解決に向け、若手ならではの視点で企画し行動するチーム。所属部署に関わらず関心のある職員が活動しています！

【R6年度取組例：AGREAL（アグリアル）】

～農産物の生産から消費までの一連の流れを体験・見学することができる
学生参加型プロジェクト～

農業のリアルを体感できる本取組を立ち上げ、SNSを通じて広く消費者の方々へお届けすることで、農業の魅力発信に挑戦！

次世代を担う「大学生」と生産・加工・流通・消費の現場を訪れ、農業の魅力を伝えるとともに、若手職員が自ら考えチャレンジしていることが、日本農業新聞や地元のテレビ等でも大きく取り上げられました！

第1弾

「『れんこん』の収穫・加工・消費体験で
農業の『これからを見通す』
@ナカドモファーム」



収穫を終えた学生らと職員

第2弾

「『柑橘』の選果場見学で『流通のこれから』を考える
@熊本市西区河内町」

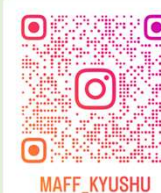
第3弾

「『若手農業者団体』との交流で『農業と農村地域のこれから』を考える
@Fam Lab8」



意見交換の様子

【Instagram】



フォロー
よろしくお願いします！



日本農業新聞
(令和7年1月21日(火))

BUZZ MAFF (ばずまふ)

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

2人ともR6年入省なんです！さっそくYoutuberとして活躍しています！




詳しくはQRコードから！

「BUZZMAFF」でも検索してみてください！

農林水産省 BUZZMAFF

検索

農林水産本省の職員のみだけではなく、様々な地方局の職員も積極的に活動しています。

九州農政局でも、たくさんのYouTuberが誕生しています！是非、皆さんも一緒にYouTuberとして活動してみませんか！？

人材育成・研修 ～農村現地研修～

- 九州管内の農家のもとに、2週間**農家の一員として働き**、受け入れ農家で衣食住を共にします。（入省2年目職員が中心）



これまでの研修受入農家
・花き（洋ラン）
・お茶
・トマト
・ミカン など

農家の一員として働くので、**農村地域の抱える課題、農水省の政策の現場での受け止められ方**などをリアルに見ます。

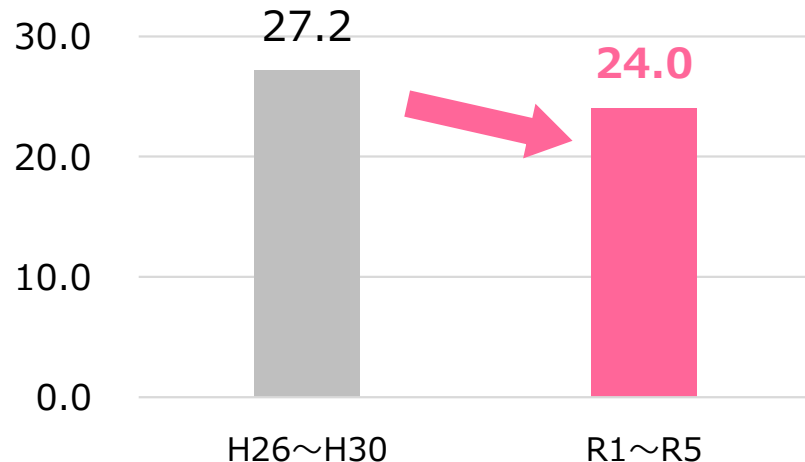
- このほか、**新規採用者向け研修や能力向上、知識習得のための研修**など様々な研修があります！

【研修例】情報セキュリティ研修、ITパスポート研修、担当業務に関する研修（食品安全、統計、会計など）

職員の働き方（働き方改革）

○ 超過勤務時間は減少傾向

（時間/月）



出典：農林水産省HPを基に作成

○ 職員一人当たりの超過勤務時間（一月あたり）

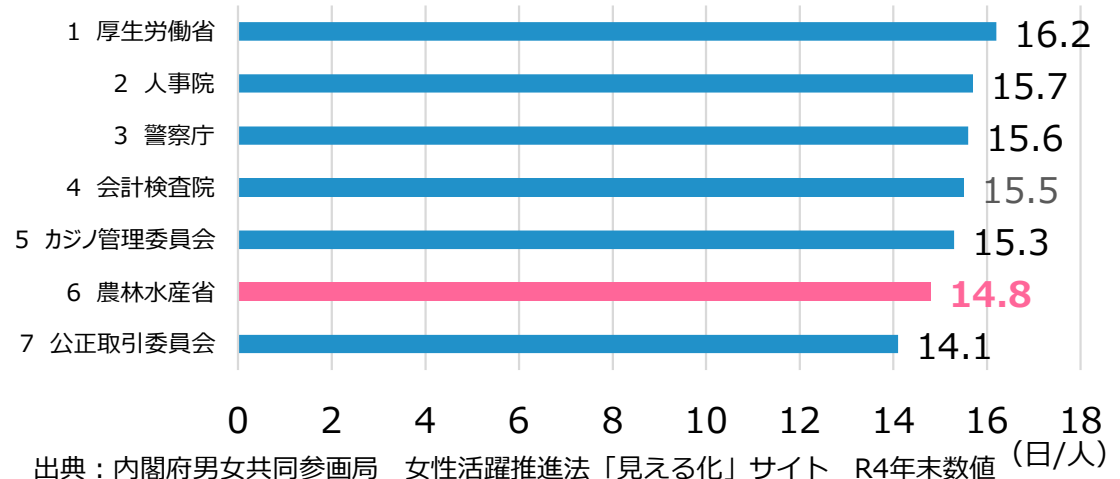
本省 （常勤職員）	22.0時間
地方機関 （常勤職員）	6.7時間
合 計	10.7時間

※令和5年における職員一人当たりの平均超過勤務時間数。
出典：農林水産省HP

○ 休暇取得

一人当たりの年次休暇取得日数は、**全省庁で6番目**

年次休暇取得日数（国家公務員（行政））



○ 多様な働き方～テレワーク等～

- ・テレワーク、フレックスタイム制度、早出遅出出勤など、ライフスタイルに合わせた勤務時間の選択が可能。
- ・令和2年度実績では、**テレワークの実施回数**が多い府省（本省）で農林水産省は**全省庁で3番目**（国家公務員テレワーク取組状況等調査より）。

働き方改革
キャラクター



省内の働き方改革などを進めています

男女ともに、子育てしながら働くのが当たり前の職場です。

農林水産省育休取得率

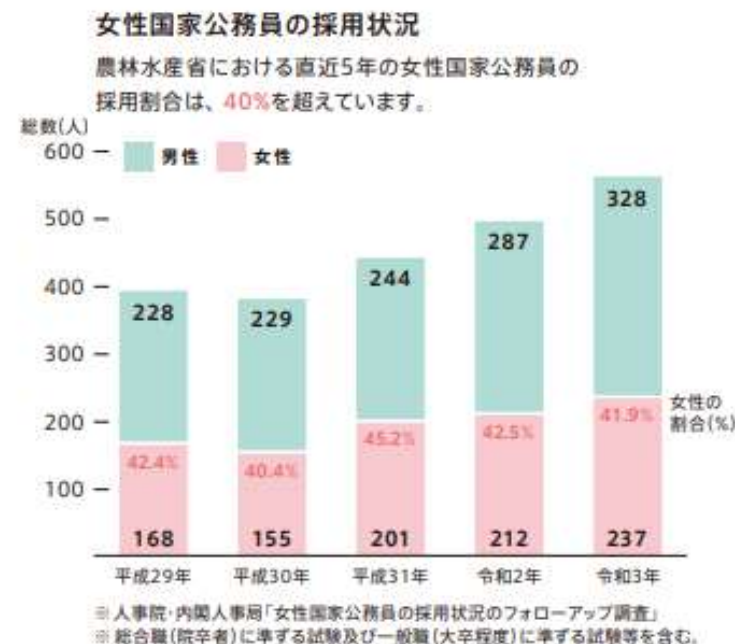
男性：88.0%、女性：102.1%

(参考)

総務省	男：75.8%、女：104.3%
外務省	男：42.3%、女：92.7%
財務省	男：82.5%、女：101.6%
文科省	男：88.2%、女：123.8%
厚労省	男：97.2%、女：102.7%
経産省	男：69.2%、女：107.4%
国交省	男：77.8%、女：110.3%

出典：仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査（令和5年度）の結果について（人事院）

農林水産省の採用者に占める女性の割合



若手職員の業務例

行政系

・厚生業務



・職員の健康管理や雇用保険等、厚生関係事務を担当。

・各種健康診断の実施や児童手当の支払、財産形成貯蓄の事務処理などを行う。

(総務部総務課厚生係
R6入省 Aさん)

・知的財産業務

・地理的表示(GI)登録製品の掘り起こしや不正表示の取締り。

・種苗法に関する質問への対応や野菜種子の安定供給に向けた補助事業に関する業務。



(経営・事業支援部輸出促進課調整係
R6入省 Sさん)

・地方参事官室



・鹿児島県内のJ Aや市町村、農業者等との対話を通じ、農業政策を伝え、意見を聞き、共に課題を解決していくことがミッション。

・農業者のみならず、消費者や流通業者等、多様な機関を巻き込んだイベントの企画も行う。

(鹿児島県拠点 R元入省 Hさん)

農村振興行政系

・用地補償業務



・農業用管水路改修工事に必要な土地の借地・買収、補償金の算定業務、地権者、相続人調べ。

・昭和時代に設定した土地の権利(区分地上権)の期間更新。

(宮崎県内事業所用地課
R6入省 Yさん)

・指導・資金業務

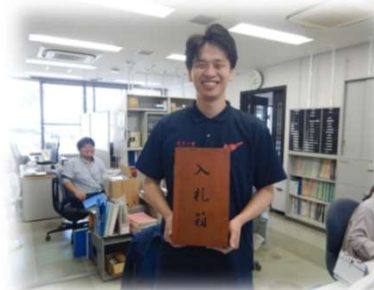
・土地改良区や県に対し、指導・助言を行う。業務に伴う出張も多い。

・土地改良区における様々な取り組みを支援するための補助金業務を行う。

(農村振興部土地改良管理課
団体指導・資金係 R6入省 Sさん)



・経理業務



・事務所に関する庁舎等の修繕・物品の購入などの手続き。事務所にて発生した支払の処理、予算の整理。

・工事・業務の発注に係る入札業務(公告・開札・契約締結まで)

(福岡県内事務所庶務課
R3入省 Kさん)

新規採用者へ質問

～質問～

Q1.農政局に興味を持ったきっかけは？

Q2.職場はどんな雰囲気？

Q3.休みの日はどのように過ごしている？

経営・事業支援部
食品企業課 Kさん
(R7入省)

Q1.インターンシップの案内を見て、食に関わる仕事ができることを知り、興味を持ちました。
Q2.皆さんとても優しく話しかけてくださるので、質問や相談をしやすいあたたかい雰囲気です。
Q3.友人や同期と遊びに行ったり、ゆっくり映画を見たりしています。旅行にも行きました！

総務部部会計課
Sさん (R7入省)

Q1.子供のころに農泊に参加して芽生えた農業への興味と、国家公務員として働きたいという思いが重なり、農政局で働きたいと思うようになりました。
Q2.わからないことや困ったことを気軽に上司に質問できますし、先輩方が気にかけてくださいます。優しく、明るく、コミュニケーションの活発な雰囲気です。
Q3.友人と野球やボートレースを観に行ったり、ご飯を食べに行ったり、家でゆっくりしたりなど、自由に過ごしています！

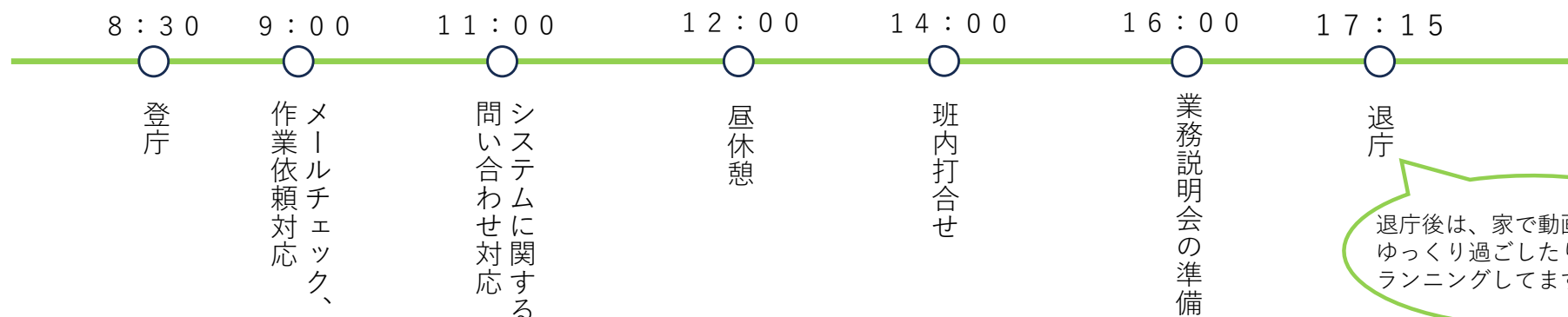
経営・事業支援部
輸出促進課
Yさん (R7入省)

Q1.美味しいごはんを食べることが好きで、日本の食を守ることができる仕事に興味があったからです
Q2.先輩、上司の方達が明るく話しかけてくださり、質問もしやすく和気あいあいとした職場です！
Q3.休みの日は、車を手に入れたので観光地巡りや飲食店巡りをしています！

農村振興部用地課
Tさん (R7入省)

Q1.大学にて業務説明会を開いてくださった際に教授から農政局について教えてもらったことがきっかけです。
Q2.職場ではとても和気あいあいとしていて業務上分からないところも、聞きやすい雰囲気です。
Q3.最近プロジェクターを購入したので、映画を見て過ごすことが多いです。

職員の1日



分かりやすい説明を心がけています！

高山 真史

総務部総務課人事第1係
H31年入省 国家一般職行政



佐賀県太良町の竹崎カキ
太良町はカキ小屋の発祥地
と言われています

○休日の過ごし方

ドライブしながら九州各地の観光地を巡り、ご当地グルメを堪能しています。
休暇が取りやすいので、予定が立てやすく非常にありがたいです。

○仕事内容

採用活動や職員の人事異動に関する事務を担当しております。
デスクワークが中心ですが、九州内の大学に出向き、学生に業務の説明などすることもあります。

○学生へメッセージ

これまで4つの部署を経験してきましたが、どの部署も上司が優しい人ばかりで、楽しく仕事をすることができました。
一緒に仕事をする人はとても大切ですので、業務説明会に参加して、職員の雰囲気を感じてみてください！

- H31.4.1 本局 経営・事業支援部輸出促進課海外展開支援係
- R3.1.1 本局 総務部会計課補助金係
- R4.4.1 本省 大臣官房環境バイオマス政策課再生可能エネルギー室
- R6.4.1 本局 総務部総務課人事第1係

職員のキャリアアップ



河端 竜也

総務部総務課長
H2年入省 国家一般職行政Ⅱ種

- H2.4 事務所：筑後川下流農業水利事務所庶務課
- H4.4 本局：総務部人事課
- H7.4 事務所：宮崎農業水利事務所用地課補償第1係長
- H9.10 事務所：南部九州土地改良調査管理事務所庶務課庶務係長
- H11.4 事務所：南部九州土地改良調査管理事務所庶務課経理係長
- H13.4 事業所：喜界農業水利事業用地課補償係長
- H14.4 事業所：喜界農業水利事業用地課用地補償係長
- H16.4 本局：総務部情報推進課調整係長
- H17.10 本局：総務部人事課管理係長
- H20.4 本局：総務部人事課給与第1係長
- H23.4 本局：総務部厚生課宿舍係長
- H25.4 本局：総務部人事課人事第1係長
- H28.4 他局：東海農政局総務課管理官
- H30.4 本局：総務部総務課課長補佐（総務）
- R2.4 本省：農産局総務課総務・会計専門官
- R4.1 本局：企画調整室調整官
- R6.4 県拠点：企画調整室総括農政推進官（福岡県拠点）
- R7.4 本局：総務部総務課長

筑後平野・佐賀平野にまたがる農地に安定的に農業用水を確保するための事業を行う事務所で働く職員の給与や諸手当、非常勤職員の給与、また、現場調査等に使用する官用車の運行管理等の事務を担当していました。

○仕事内容

九州農政局管内の庶務関係事務、情報セキュリティ、情報公開に関する事務、厚生・共催に関する事務、給与の支給に関する事務、職員の人事や服務に関する事務等の統括を担当しています！

○学生へのメッセージ

九州農政局では地域の特色を生かした農業・農村の発展のため生産・流通・消費等国民の生活や経済活動等の幅広い業務を行っており、多種・多様な業務に携わることができます。また、九州管内に多数の出先機関があり、その地域の特色や文化に触れることが出来ることも大きな魅力です。是非、一緒に働いてみませんか！



H7.4 総務部総務課長

H2.4 筑後川下流農業水利事務所庶務課 採用

係 員

係 長

課長補佐
専門官

課 長

H7.4 宮崎農業水利事務所用地課補償第1係長

R2.4 農産局総務課総務・会計専門官

宮崎市、小林市及び東諸県郡綾町にまたがる農地に、安定的に農業用水を供給するためのダムや幹線水路の造成に必要な土地の取得や工事用地の借地等事務を担当していました。

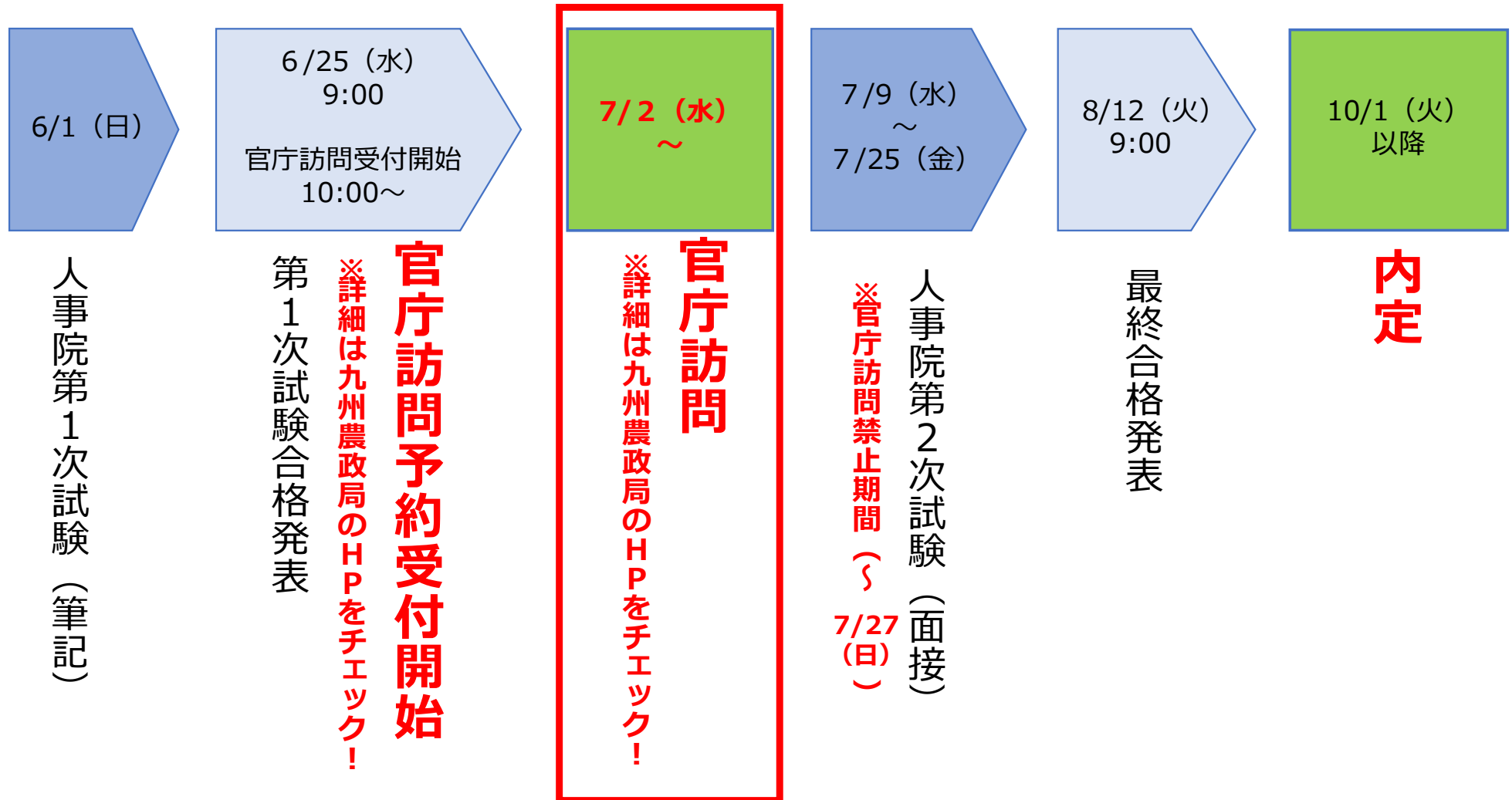
本省や他の農政局の
転動もあります！

農林水産本省の農産局総務課及び局内各課に係る庶務関係事務、福利厚生関係事務、服務関係事務、文書関係事務、栄典関係事務等を担当していました。

今日お話すること

1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

採用スケジュール(2025年度国家一般職試験(大卒程度))



新規採用者数の推移（一般職行政系 九州農政局）

九州農政局における新規採用者数は**年々増加**しています。
（新卒だけでなく**既卒の受験者も採用**しています。）

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
行政系	8 名	1 2 名	8 名	1 2 名	1 0 名
農村振興 行政系	3 名	4 名	4 名	3 名	5 名
計	1 1 名	1 6 名	1 2 名	1 5 名	1 5 名



HPで官庁訪問の案内等をチェックしましょう！

農林水産省の魅力

大きな転換期にある社会課題（食・農林水産業）に
幅広いフィールドで確かな貢献ができる。

転換期にある 農林水産業

- ・ 今、農林水産業は課題が山積している
- ・ ここから10年、20年で農林水産業は大きく変わる
- ・ いつの時代になっても、食と環境を守る仕事は決してなくなる

確かな貢献

- ・ 産業（農林水産業、食品産業）を所管するからこそ、具体的な貢献ができる
- ・ 食という身近なものに関われる
- ・ ピンチの今だからこそ、若手がチャレンジして変革を起こせる

幅広いフィールド

- ・ 1次産業を中心とした多様なフィールド
- ・ 実際に世の中を動かせる豊富なツール
- ・ ローカルからグローバルまで幅広い活躍の場がある